

環境省脱炭素経営促進メールマガジン

ESG パネル、GB シンポ、NASA 暴風雨頻度予測、EASA 航空機排出量、蘭・高架道路(2019年2月13日配信)

○環境省等の政策・取組

●【環境省】ESG 金融ハイレベル・パネル（第1回）の開催（2/28@東京）

ESG 金融懇談会提言（2018年7月取りまとめ）を踏まえ、各業界トップと国が連携し、ESG 金融に関する意識と取組を高めていくための議論を行い、行動する場として「ESG 金融ハイレベル・パネル」を設置しました。提言に基づく取組状況を定期的にフォローアップしていきます。

第一回では、基調講演として海外金融機関より ESG 金融における第一人者を招へいするほか、金融・投資の各業界トップの方々による最新の取組状況の御紹介、国による取組状況の報告などを予定しています。皆様是非お越しくください。

<http://www.env.go.jp/press/106432.html>

（参考）ESG 金融懇談会（提言、メンバー、提言概要等）

<http://www.env.go.jp/policy/esg/kinyukondankai.html>

●【環境省】3月1日午後、ジャパン・グリーンボンド・シンポジウムを開催します

国内外におけるグリーンボンドに関連する最新の動向やグリーンファイナンス、ESG 投資に関する情報共有、国内のグリーンボンド発行、投資家による取組、地域のグリーンボンド発行拡大に向けた取組紹介や、グリーンボンドの先進的取組等を表彰するジャパン・グリーンボンド・アワード表彰式を実施する予定です。

<http://greenbondplatform.env.go.jp/event/symposium2019.html>

○脱炭素の取組動向

●米航空宇宙局（NASA）、地球温暖化が暴風雨の発生頻度を高めるとの予測を発表

米航空宇宙局（NASA）の研究グループは、海表面温度と暴風雨頻度の関係を定量的に示した研究成果を発表しました。

この研究は、地球観測衛星 Aqua(※1)に搭載された大気赤外サウンダ(AIRS)(※2)を活用した15年分の観測データを分析したものです。海表面温度が28度以上になると1時間当たり最低25キロ平方メートルの範囲で少なくとも3ミリメートルの雨をもたらす雨雲が発生する、海表面温度が1度上昇するごとに、暴風雨の発生頻度が21%増加するといった分析結果となっています。

この研究グループは、今世紀末までに、熱帯海洋の表面温度が 2.7 度上昇するとの予測データを踏まえると、暴風雨の発生頻度は 60% 上昇すると予測するとともに、温暖化対策を実施しなければ、暴風雨の増加は洪水を増加させ、構造物の損害や農作物への被害も増加するとしています。

(※1) アメリカ・日本・ブラジルの国際協力プロジェクトに基づいて共同開発された、宇宙から水とエネルギーの循環に関するさまざまな物理量を観測し、大気・海洋・陸域間の相互作用と、それが地球システムの変化に及ぼす影響を総合的に調べることを目的とした米国の地球観測衛星。

(※2) 地球観測衛星 Aqua に搭載された観測用センサーの一つ。陸・海面温度、気圧毎の水蒸気量、気圧毎のオゾン量、積算オゾン量、気圧毎の気温等を計測可能。他のセンサーのデータを活用して雲の影響を除去可能であり、高い鉛直分解能と精度を有している。

<https://www.jpl.nasa.gov/news/news.php?feature=7319>

● 欧州航空安全機関 (EASA)、EU 域内での航空機による CO2 排出量が 2040 年までに 21% 増加と発表

1 月 24 日、欧州航空安全機関 (EASA) は、欧州環境機関 (EEA) と欧州航空航法安全機構 (EUROCONTROL) と協力して作成した「欧州航空環境レポート (EAER) 第 2 版」を発表しました。

本レポートによると、2014 年以降、EU 域内で航空機から排出された CO2 は 10%、窒素酸化物 (NOx) (※) は 12%、それぞれ増加しています。2017 年から 2040 年までに航空機運行量が 42% 増加するという予測を踏まえると、更に CO2 は 21%、NOx は 16% の増加が予測されています。

CO2 や NOx に加えて騒音の増加も見込まれており、EASA では EU 全体としての対策強化を呼びかけています。

(※) 窒素酸化物 (NOx) は窒素の酸化物の総称で、二酸化窒素 (NO2)、一酸化二窒素 (N2O) などが含まれる。光化学スモッグの原因物質であり、硫酸酸化物とともに酸性雨の原因にもなっている。N2O は CO2 の 265 倍の温室効果があるとされている。

<https://www.easa.europa.eu/newsroom-and-events/news/european-aviation-report-continued-growth-aviation-poses-environmental>

●オランダ政府、サーキュラー・エコノミーの実現に向けて再利用可能資材による高架道路を建設

1月14日、オランダ政府は2050年までに廃棄物を出さない「サーキュラー・エコノミー（循環型経済）」を実現するための施策の一環として、カンペン・ドロンテン市間(※)において、再利用可能な資材を使った初の高架道路を開通させました。

オランダ社会基盤・水管理省によると、この高架道路は、廃棄物を出すことなく解体、再利用でき、通常の高架道路耐用年数30～50年に対し、約200年にわたり利用できます。また、40の部材は取り外し可能なため、車線や出口の追加等が容易にでき、全体を移転させることも可能です。

同国内では、1950～1960年代に建設された多くの橋やトンネルが改修の時期を迎えており、同省では、これらの改修に今回の高架道路の経験を活かすとしています。また、再利用可能な資材を活用することはオランダの気候目標の達成にも寄与するとしています。

(※)オランダの首都アムステルダムから東に50km程度の地域。

<https://www.government.nl/ministries/ministry-of-infrastructure-and-water-management/news/2019/01/14/first-reusable-flyover-in-the-netherlands>

●環境省の2019年度予算事業の公募等が始まっています。是非ご活用ください。

- ・環境省再エネ加速化・最大化促進プログラム

<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/lca/co2reduction.html>

- ・2019年度エネルギー対策特別会計概算要求 補助金・委託費等事業（事業概要）

<http://www.env.go.jp/earth/earth/ondanka/energy-taisakutokubetsu-kaikeih31.html>

- ・わかりやすい！主な事業の自治体・事業者向け解説書

http://www.env.go.jp/earth/post_46.html

●脱炭素関連ポータルサイト

グリーンバリューチェーンプラットフォーム

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/index.html

「企業と投資家のためのESG対話プラットフォーム」環境省 環境情報開示基盤整備事業
<https://www.env-report.env.go.jp/>

グリーンボンド発行促進プラットフォーム

<http://greenbondplatform.env.go.jp/>

日本版タラノア対話ポータルサイト、「タラノア JAPAN - 未来を拓く、あなたの温暖化対策 優良事例ポータル」

<http://copjapan.env.go.jp/talanoa/>

事業者のための CO2 削減対策 Navi

<https://co2-portal.env.go.jp/>

L2-Tech 情報プラットフォーム

<http://l2-tech.force.com/>

環境省「ZEB PORTAL - ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ゼブ）ポータル」:

<http://www.env.go.jp/earth/zeb/index.html>

気候変動適応情報プラットフォーム

<http://www.adaptation-platform.nies.go.jp/>

環境省 CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/cpttv_funds/index.html

低炭素水素サプライチェーンプラットフォーム

http://www.env.go.jp/seisaku/list/ondanka_saisei/lowcarbon-h2-sc/index.html

=====
環境省脱炭素促進メールマガジン

発行元：環境省地球環境局

※宛先の追加、変更、配信停止の操作は以下のサイトをお願いします。

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/mail_magazine.html

環境省脱炭素促進メールマガジンのバックナンバーもこちらで公開しています。

上記よりアクセスできない、その他お問合せの際は

decarbonize@env.go.jp

までご連絡下さい。

=====